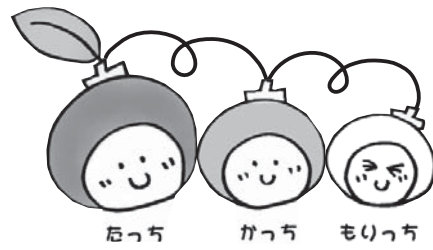


社協たかもり

※社協よりは町民の皆さんからの会費により発行されています。



高森町社会福祉協議会 平成27年度 事業報告・決算

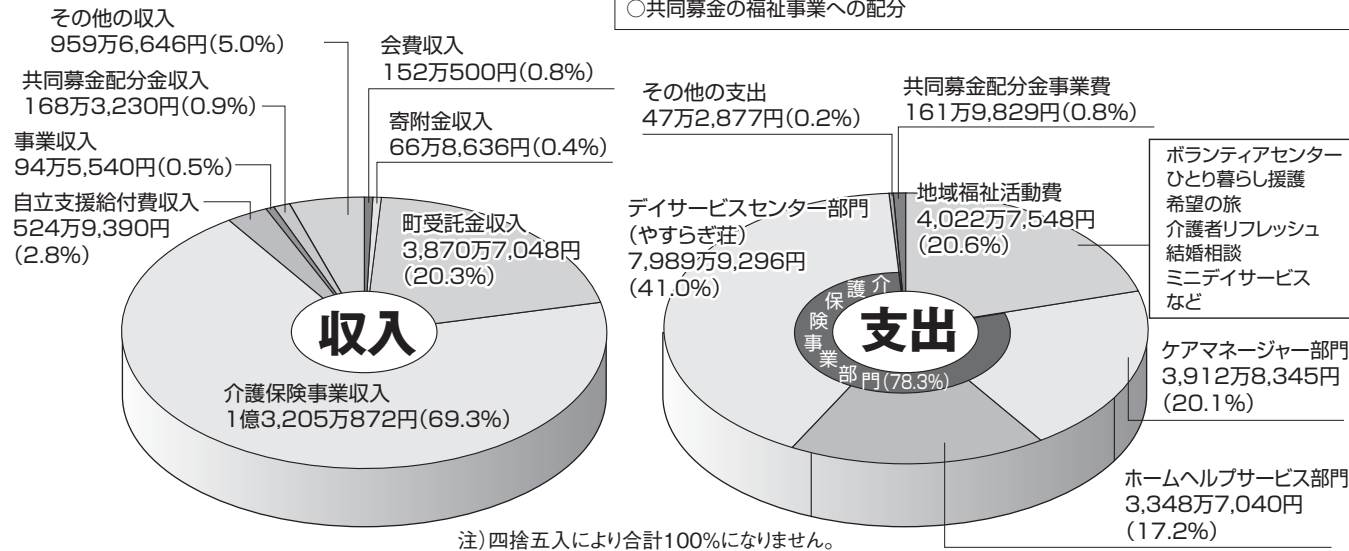
平成27年度 一般会計決算

収入 1億9,042万1,862円
 支出 1億9,483万4,935円
 収支差額 -441万3,073円

(定期預金運用1,500万円を含む)

<27年度の主な事業報告>

- 地域福祉の取り組み
 - 一人暮らし高齢者支援、希望の旅事業、ボランティアセンター等における福祉活動支援
 - ボランティア育成事業、お助けマン事業、福祉学習の企画協力、防災支援事業
 - リフレッシュ事業、かいこの教室開催、地区ふれあい広場の共催
- 介護予防事業
 - ミニデイサービス事業(いきいき倶楽部)
 - 介護予防送迎事業
- 介護保険事業
 - ケアマネージャー、ホームヘルパー、デイサービスによる介護サービス
- 相談事業
 - 生活福祉資金貸付事業、結婚相談事業、日常生活支援事業
- 共同募金の福祉事業への配分



デイサービスやすらぎ荘 書道クラブ

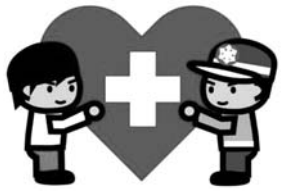
「社会を明るくする運動」の一環として、高森町では毎年「あいさつ」に重点をおいた活動を行っています。それに合わせてそれぞれの立場において力を合わせ、支え合える社会を築いていけるよう、毎年やすらぎ荘でも正面玄関へ「明るいあいさつを交わし合う高森町」と大きく掲げており、そのポスターの文字はやすらぎ荘の利用者さんに書いていただいています。

利用者さんが一文字一文字丁寧に書いてくださる文字には、心がこもっており、訪れる全ての方々に思いが伝わるのではないのでしょうか。やすらぎ荘利用者さんの元気で高森町をより元気にしていけるよう頑張ります！



救命講習会開催!

6月22日(水)、毎年実施している社協職員を対象にした、一般救命講習がやすらぎ荘2階大ホールにて行われました。講師に飯田広域消防高森分署壬生さんをお呼びし、救命救急法を学びました。



心肺蘇生法トレーニングマネキンを相手に、実際に訪問先や施設内で利用者さんが倒れたことを想定した心肺蘇生法やAEDの操作方法等について学びました。事例を交えながら分かりやすく注意すべき点など教えてくださり、実際にこのような場面に出くわした時に迅速に対応できる様、職員全員真剣に取り組むことができました。

心肺蘇生法も日々技術が進歩しています。今回の講習で、職種を問わず職員全員で最新の技術を学ぶことができました。今回の目的でもある、心肺蘇生法の理解習得、緊急時における適切な対応が出来るよう今後についても定期的な勉強会を開催し施設の中はもちろん、地域や社会に貢献していきたいと思っております。



障がいを持たれる方の希望の旅

今回の希望の旅では「しらびそ高原バスハイク」を企画しました。6月23日(木)には障がいをお持ちの方を対象に、民生委員さんやボランティアさんを含め21人でのバスハイクとなりました。

梅雨に入り、朝からお天気が心配でしたが、雨のち晴れの情報を見て、しらびそ高原まで向いました。矢筈トンネルを抜け、林道の標高が高くなるにつれて霧と森林の神秘的な景色が眼下に見える深い谷底に「うわー！すごい！」と歓声がバス内に響き、晴れている時とはまた違ったスリルを味わうことができました。



目の前に広がる南アルプスをバックに♪

昼食は「ハイランドしらびそ」にて頂きました。鹿肉などのジビエを使用した美味しいお料理に皆さん大満足の様子でした。昼食後、しらびそ高原から「下栗の里」へ下りました。下へ下るとともにお天気も回復し、霧もはれ、雨あがりの洗われた緑の美しい南アルプスの絶景に車内は大歓声。行きと帰りそれぞれ違った景色を見ることができ、「いいところへ来てよかった!」「こんな景色は見たことない!」と嬉しい声を聞くことができました。



ハイランドしらびそにて昼食。ワイワイととても盛りあがっていました。

また、参加者さん同士お話しも弾み、楽しいひと時も過ごすことができたのではないのでしょうか。

今回、民生委員の皆さん他多くの皆様のご協力のおかげで、無事障がいを持たれる方の希望の旅を終える事ができました。この旅を通して、周りの人と触れ合い、その温かさを改めて実感し生き生きとした気持ちになっていただければ幸いです。

高森町社会福祉協議会

電話34-3717 FAX35-9589 Eメール t-shapc1@takamori.ne.jp
 ホームページ <http://www.takamori-shakyo.com/>

お得な情報満載!

高森社協 検索

